

令和6(2024)年度みよし市行政評価市民アンケート結果

1 アンケート調査の実施概要

(1) 目的

第2次みよし市総合計画(以下「総合計画」という。)に掲げた18の取組方針及び基本的な考え方における各取組に対する満足度と重要度について市民の皆さまの考えをお聞きし、今後の住みよいまちづくりに向けた取組への基礎資料とするとともに、更なる行政サービスの向上を図るためにアンケート調査を実施しました。

(2) 調査期間

令和7(2025)年1月8日(水)から令和7(2025)年2月19日(水)まで

(3) 調査対象者

令和6(2024)年10月31日を基準日とし、本市に住民登録されている18歳以上の市民から2,000人を無作為に抽出しました。

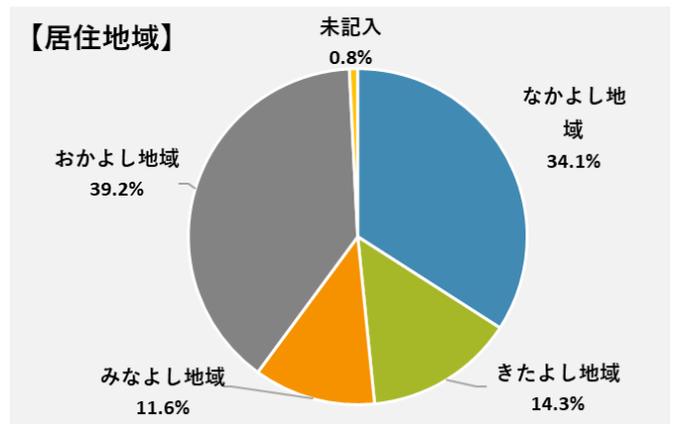
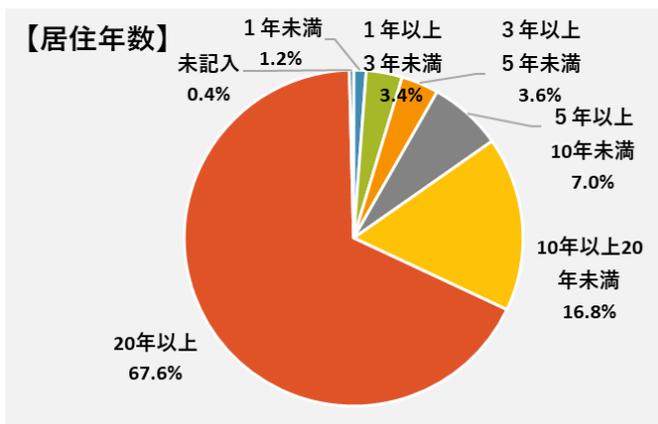
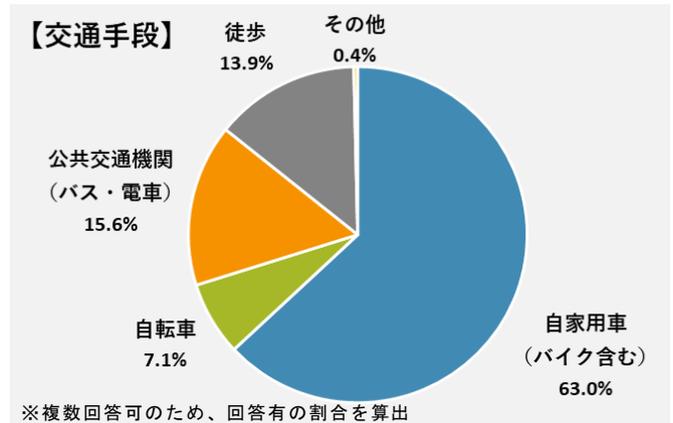
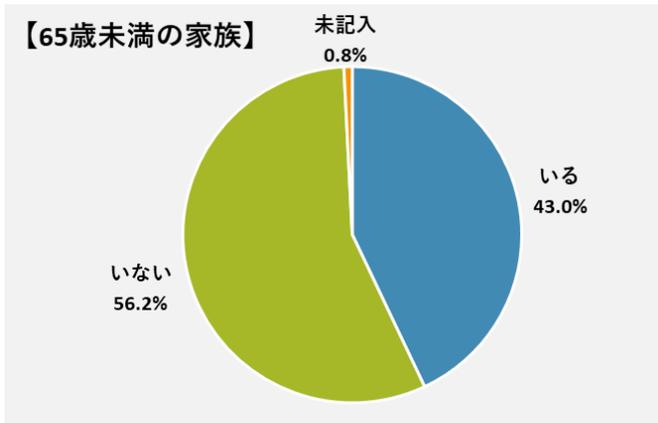
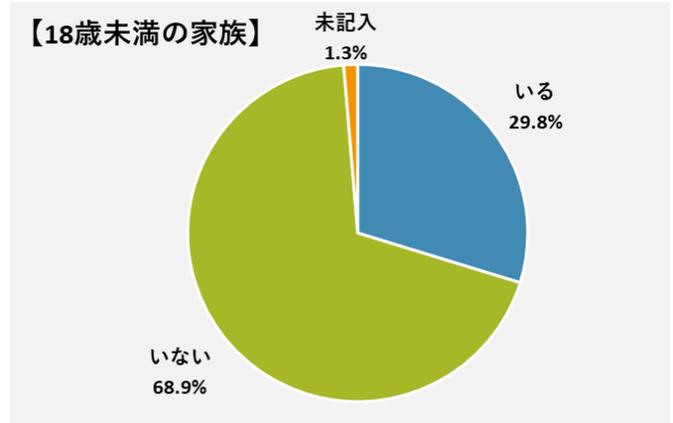
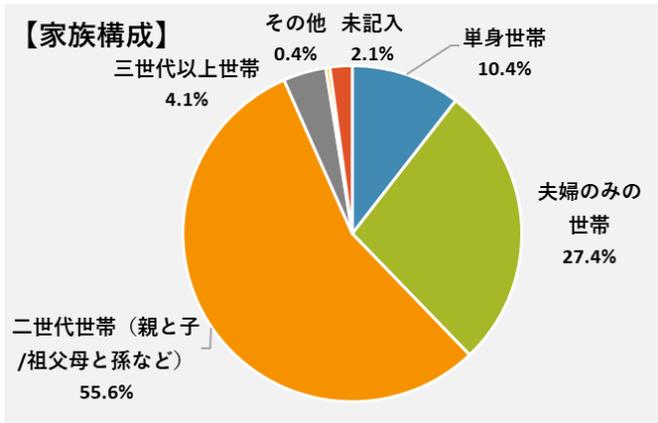
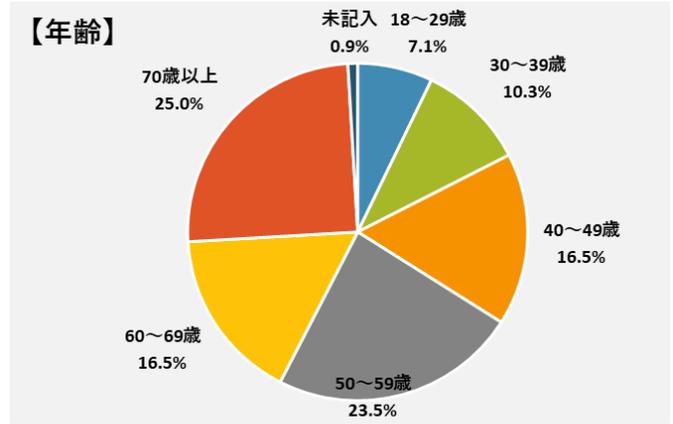
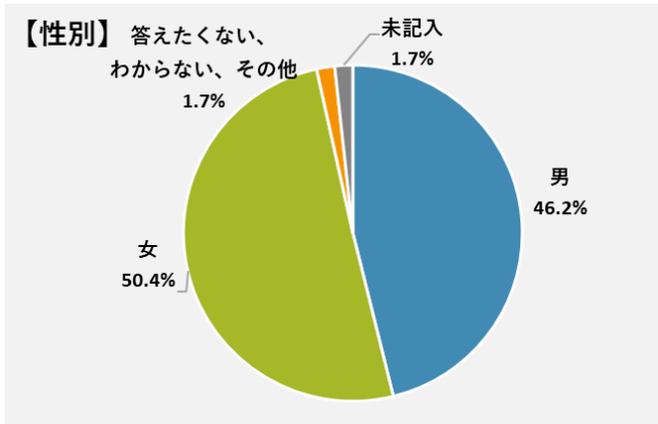
(4) 調査方法

郵送配布(回収は、郵送、直接、インターネット)

(5) 回答結果・回答属性

アンケートは756人(インターネット回答339人)から回答をいただきました。詳細は、以下のとおりです。

区分	11月1日時点 人口(人)	配布対象者 (A)(人)	(A)の構成比	回答数 (B)(人)	(B)の構成比	回答率 (B/A)	
総計	61,377	2,000	-	756	-	37.8%	
性別	男性	31,463	999	50.0%	349	44.3%	34.9%
	女性	29,914	1,001	50.1%	381	50.4%	38.1%
	答えたくない	-	-	-	13	1.7%	-
	わからない	-	-	-	13	1.7%	-
	その他 未記入	-	-	-	7	0.9%	-
年齢	18~29歳	9,168	333	16.7%	54	7.1%	16.2%
	30~39歳	7,465	275	14.9%	78	10.3%	28.4%
	40~49歳	8,340	338	16.9%	125	16.5%	37.0%
	50~59歳	10,514	426	21.3%	178	23.5%	41.8%
	60~69歳	6,175	267	13.4%	125	15.2%	46.8%
	70歳以上 未記入	9,193	361	18.1%	189	25.0%	52.4%
居住地域	なかよし	23,697	786	39.3%	258	34.1%	32.8%
	きたよし	8,805	272	12.7%	108	14.3%	39.7%
	みなよし	6,417	192	9.6%	88	11.6%	45.8%
	おかよし	22,458	750	37.5%	296	39.2%	39.5%
	未記入	-	-	-	6	0.8%	-

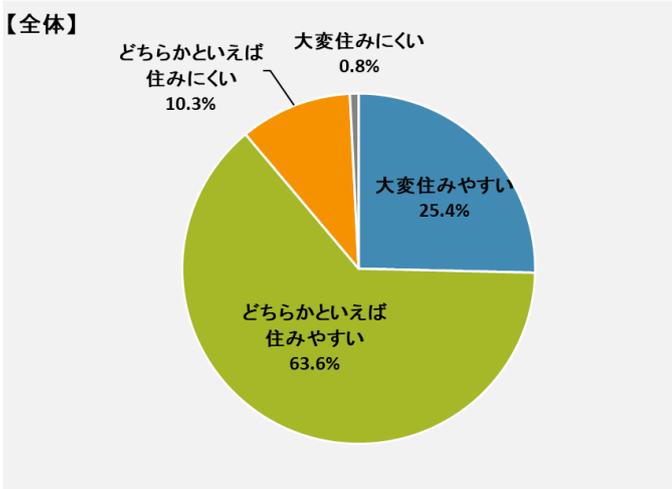


(6) 今後の活用方法

本アンケートを行政評価（施策評価・事務事業評価）における、令和6（2024）年度の実績として活用するとともに、今後のまちづくりへの取組にあたり経年変化や回答者の属性などデータを分析することにより、効果的な行政サービスの実現のために役立てていくこととします。

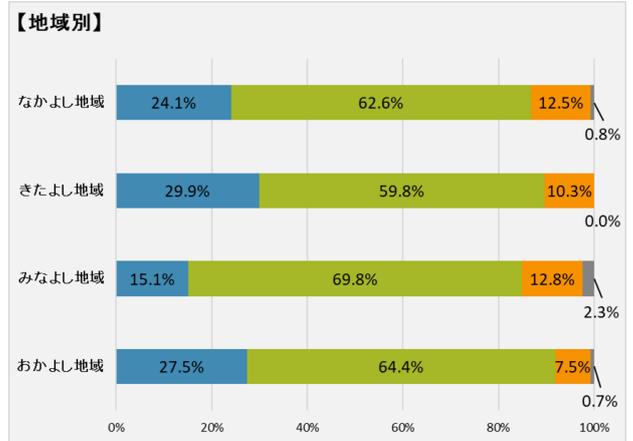
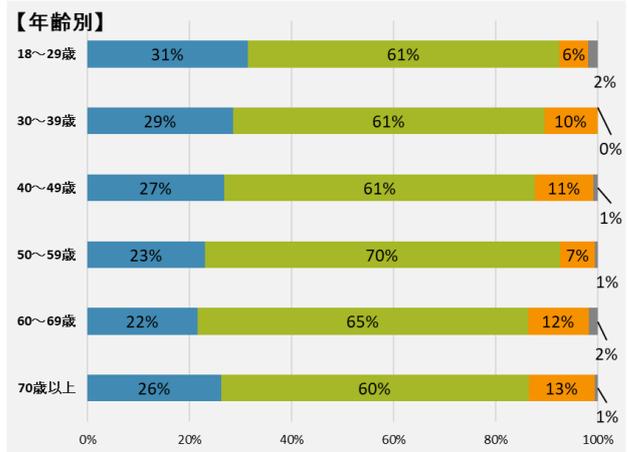
2 アンケート調査結果

(1) 住みやすさについて

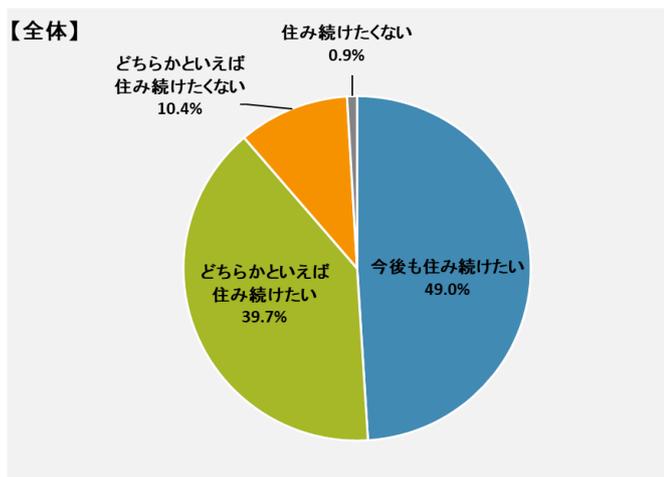


全体では「どちらかといえば住みやすい」が63.6%と最も多く、次いで「大変住みやすい」が25.4%と、約9割の人が“住みやすい”と評価しています。

回答数 749

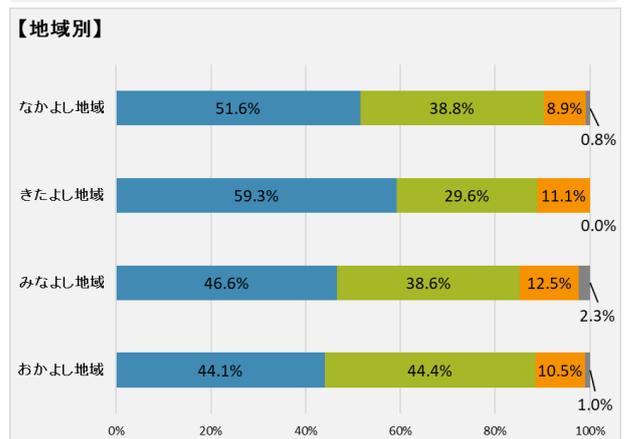
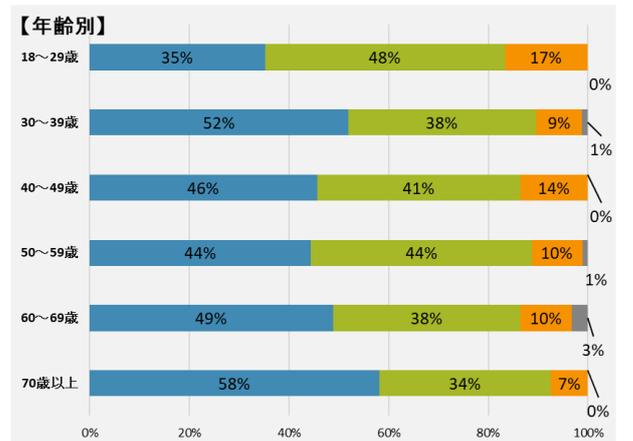


(2) 住み続けたいかについて



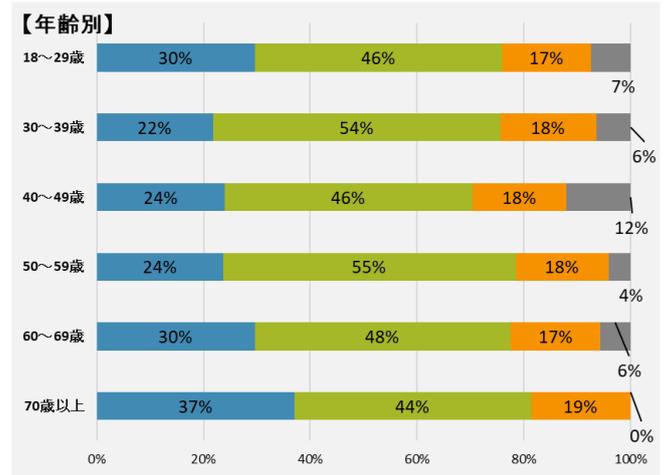
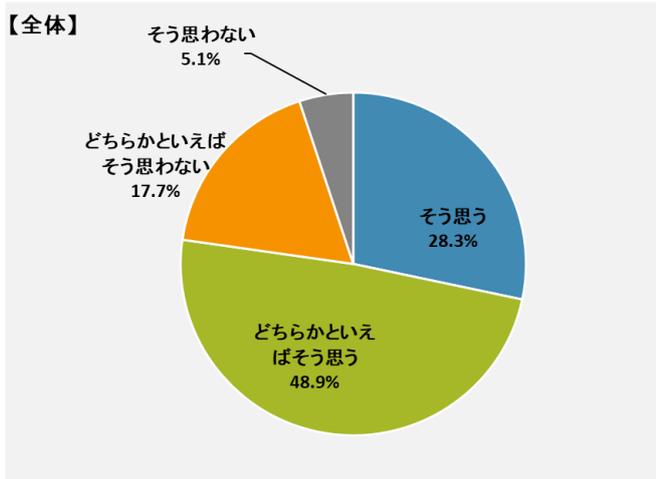
全体では「今後も住み続けたい」が49%、「どちらかといえば住み続けたい」が約40%と、約9割の人が“住み続けたい”と評価しています。

回答数 753

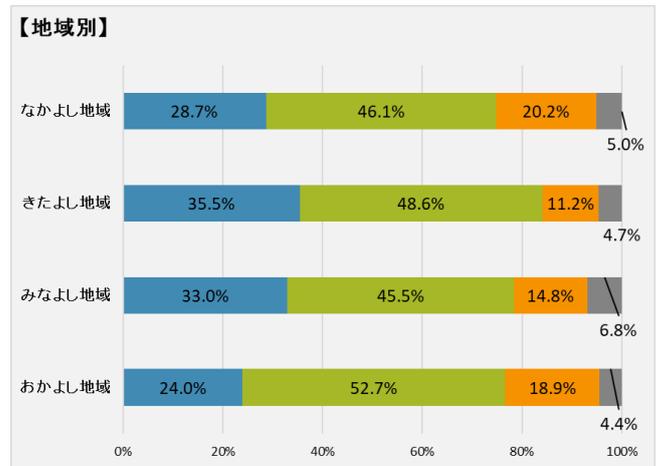


(3) 愛着や誇りを感じているかについて

回答数 752



全体では「どちらかといえばそう思う」が約 49%と最も多く、次いで「そう思う」が約 28%と、約8割の人が“愛着や誇りがある”と評価しています。



(1)から(3)の回答に対する自由意見(抜粋)

【良い点】

- ・名古屋・豊田に近く、便利。
- ・緑豊かで空気がきれい。
- ・都会すぎず、田舎すぎない。
- ・子育て世代への支援が充実している。
- ・人とのつながり
- ・生まれ育った町で愛着がある
- ・財政が安定している
- ・自然災害が起きにくい
- ・犯罪が起きづらい。

【良くない点】

- ・道路の渋滞
- ・交通の便があまりよくない。
- ・飲食店など、お店が少ない。
- ・駅が少なく通勤・通学に不便。
- ・近所付き合いが大変。
- ・道路環境が良くないところがある。
- ・駅周辺の魅力がない。

3 取組分野別の満足度・重要度評価

本アンケートでは、各取組分野の満足度・重要度について調査を行いました。それぞれの項目の選択肢に下表のように評価点をつけて、回答者による平均点を算出し評価指標としました。

基本目標	施策(取組方針)	取組分野
1 安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう	①子育て支援 ②家庭教育 ③地域で子育てを支える環境
	心豊かな子どもを育てよう	①小中学校教育 ②青少年健全育成
	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう	①生涯学習 ②文化・芸術 ③広域交流 ④多文化交流 ⑤男女共同参画
2 健康で生き生きと暮らせるまち	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう	①地域福祉 ②高齢者福祉 ③介護 ④障がい者福祉
	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう	①地域医療 ②健康づくり ③スポーツ ④生きがい・働きがい
3 安全で安心して暮らせるまち	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう	①防災・減災 ②消防
	交通事故や犯罪のないまちをつくろう	①交通安全 ②防犯
4 魅力と活力があふれるまち	工業のさらなる成長を支えよう	①工業
	まちのにぎわいや魅力を生み出そう	①商業 ②観光・魅力発信 ③地域活力
	地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次代につなげよう	①農業 ②地産地消
5 自然環境を守り未来へつなぐまち	緑を守り育て、まちを美しくしよう	①緑のまちづくり ②環境美化
	環境にやさしいまちにしよう	①地球環境の保全 ②循環型社会
6 快適で暮らしやすいまち	生活の基盤が整ったまちをつくろう	①土地利用 ②河川 ③下水道
	便利で快適な住環境をつくろう	①公共交通 ②道路 ③市街地整備 ④景観

	多様な世代の定住・移住を促進しよう	①住まい ②雇用対策
まちづくりの進め方	市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり	①市民参画と協働によるまちづくり
	透明性の高い開かれた市政	①行政情報の公開 ②広報・広聴
	効果的・効率的で安定した行財政運営	①行政組織 ②行政改革・行政評価 ③広域連携の推進 ④財政

満足度	点数
満足	5点
やや満足	4点
普通	3点
やや不満	2点
不満	1点

重要度	点数
重要	5点
やや重要	4点
あまり重要でない	2点
重要でない	1点
わからない	—

(1) 取組分野別満足度・重要度について

取組分野別満足度の平均点は 3.288 点、重要度の平均点は 4.433 点でした。
満足度及び重要度の上位と下位の項目は次のとおりです。

【満足度】

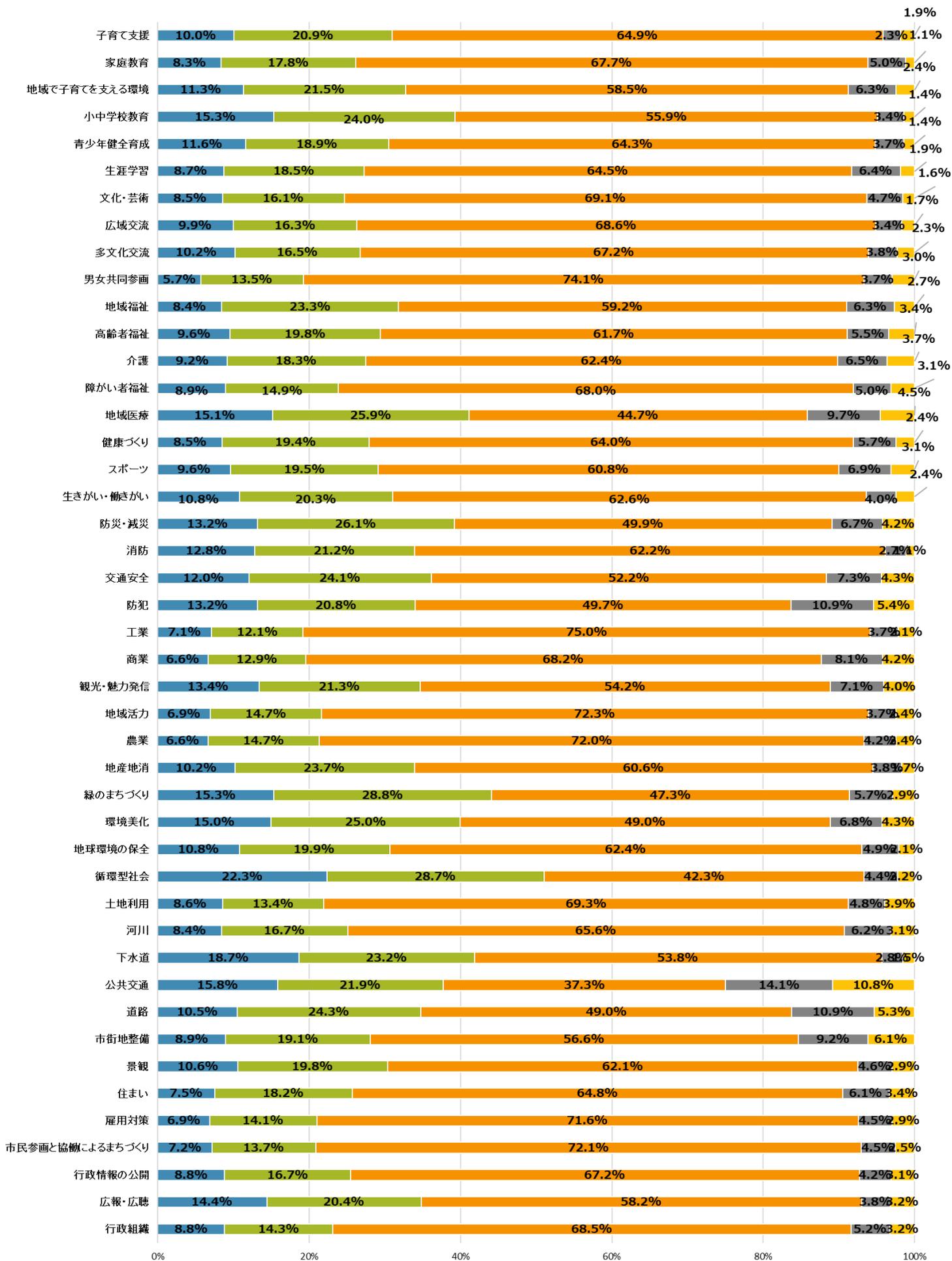
1位	循環型社会(3.645)	44位	公共交通(3.178)
2位	下水道(3.547)	45位	雇用対策(3.175)
3位	小中学校教育(3.483)	46位	市街地整備(3.155)
4位	緑のまちづくり(3.478)	47位	男女共同参画(3.152)
5位	消防(3.417)	48位	商業(3.096)

【重要度】

1位	防災・減災(4.609)	44位	生涯学習(4.182)
2位	防犯(4.596)	45位	観光・魅力発信(4.103)
3位	地域医療(4.756)	46位	多文化交流(3.956)
4位	交通安全(4.674)	47位	男女共同参画(3.936)
5位	消防(4.645)	48位	広域交流(3.874)

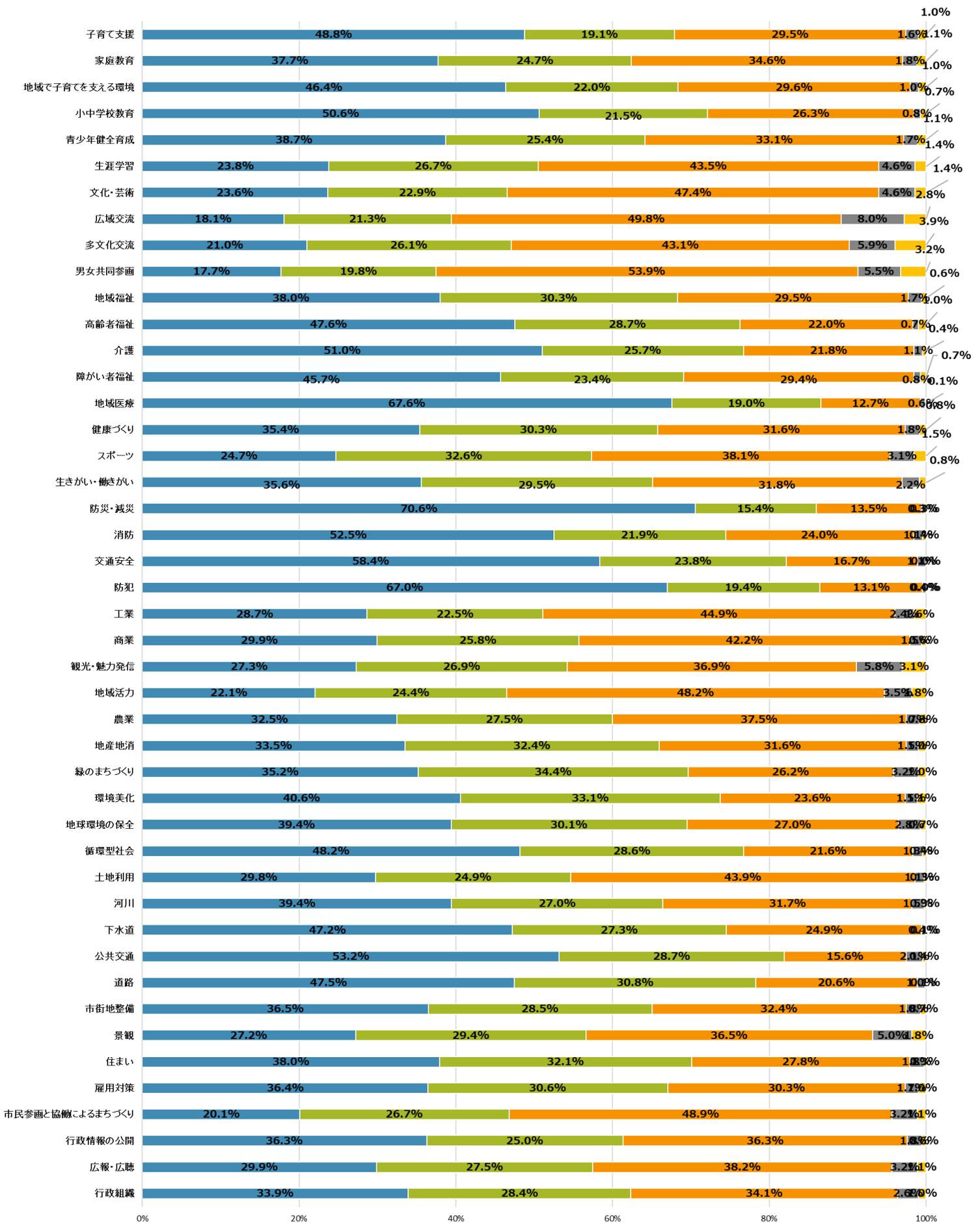
【取組分野別の満足度グラフ】

■満足 ■やや満足 ■普通 ■やや不満 ■不満



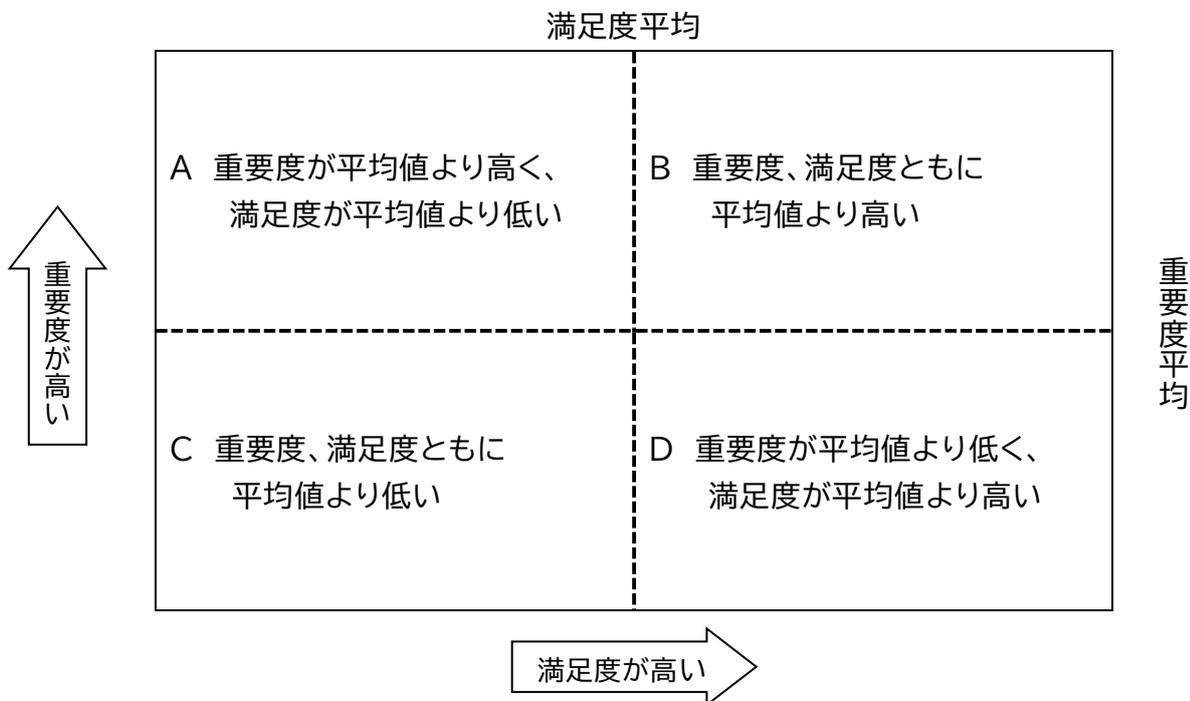
【取組分野別の重要度グラフ】

■重要度 ■やや重要 ■わからない ■あまり重要でない ■重要でない



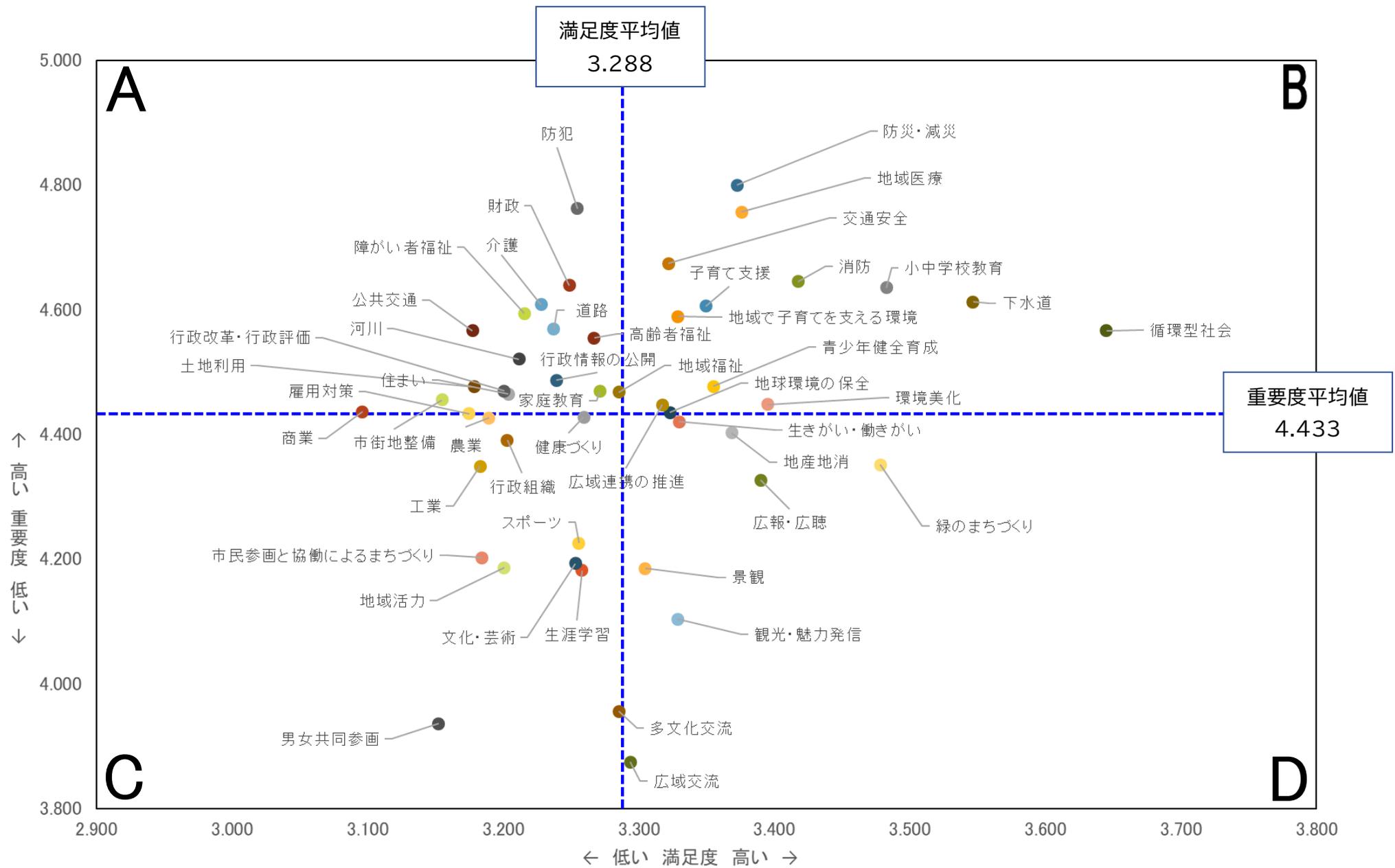
(2) 満足度、重要度の平均値散布図による分析(満足度・重要度の散布図を参照)

各調査項目の分布状況については、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、平均値を基準として次の4つの領域に分類し分析しました。



Aの領域	・取組の必要性は十分認識されているものの、満足度が低く、最も充実が求められていると考えられます。このため <u>従来の取組に改善を加え、さらなる充実を図る必要がある重点項目</u> としてとらえることができます。
Bの領域	・取組の必要性は十分認識され、その取組にも満足されているものと考えられます。このため <u>今後も現在の水準を維持していく項目</u> としてとらえることができます。
Cの領域	・取組に対するニーズは低く、満足度も低いものと考えられます。このため、 <u>今後取組の見直しなどを検討する必要がある項目</u> としてとらえることができます。
Dの領域	・取組の必要性は低いが、満足されているものと考えられます。 <u>今後も現状のまま保つ維持項目</u> としてとらえることができます。

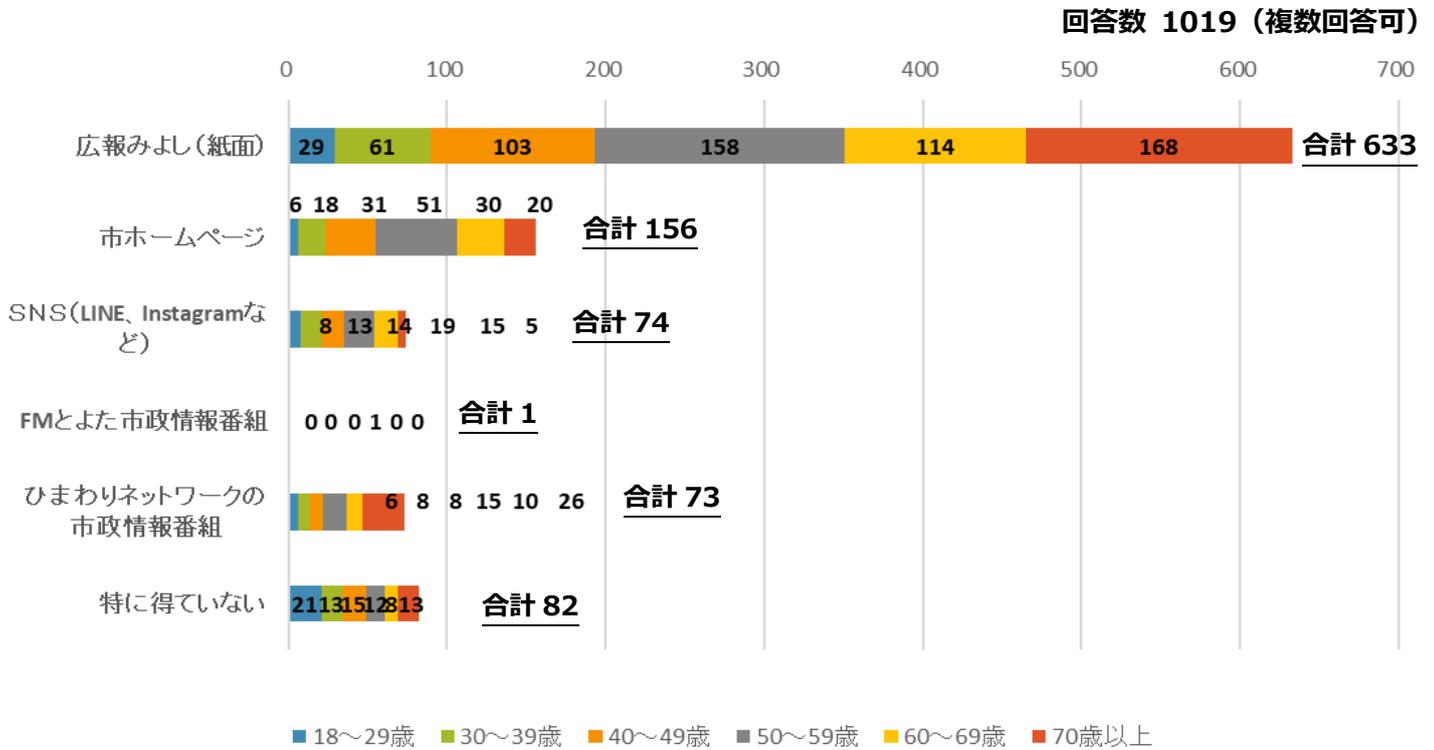
..



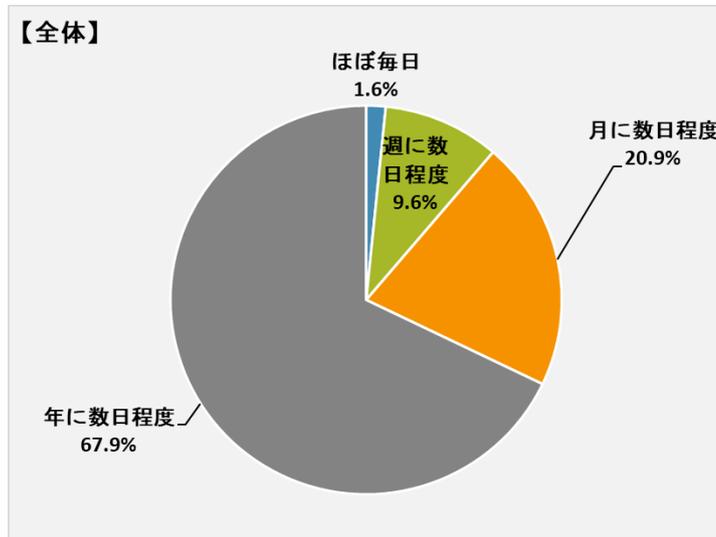
4 その他アンケート集計結果

(1) 市政に関する情報の取得手段について

市政に関する情報の取得手段については、広報みよし(紙面)が最も多く633件(約62%)で、ついで市ホームページ156件(約15%)、SNS(LINE、Instagram)74件(約7%)となっています。

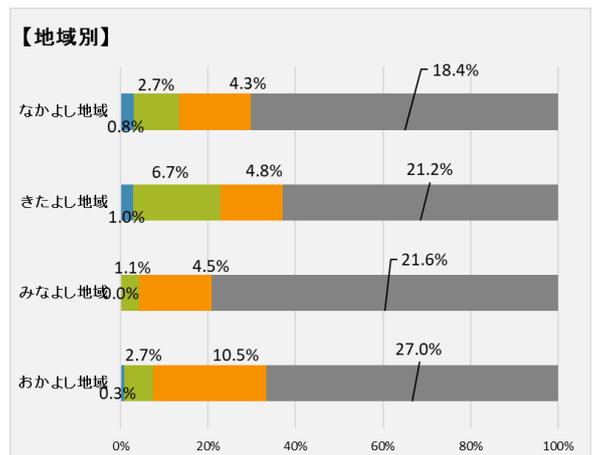
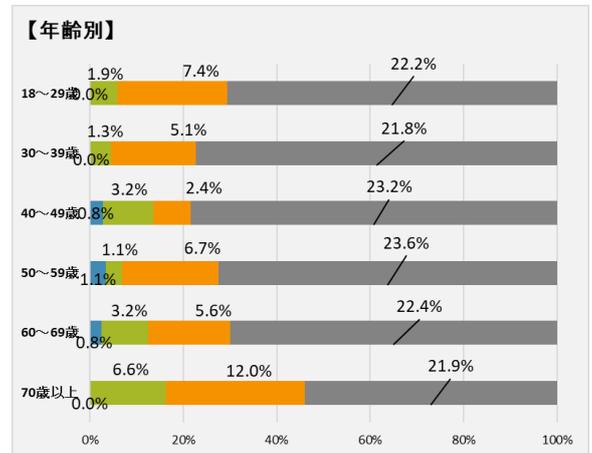


(2) さんさんバスの利用頻度について



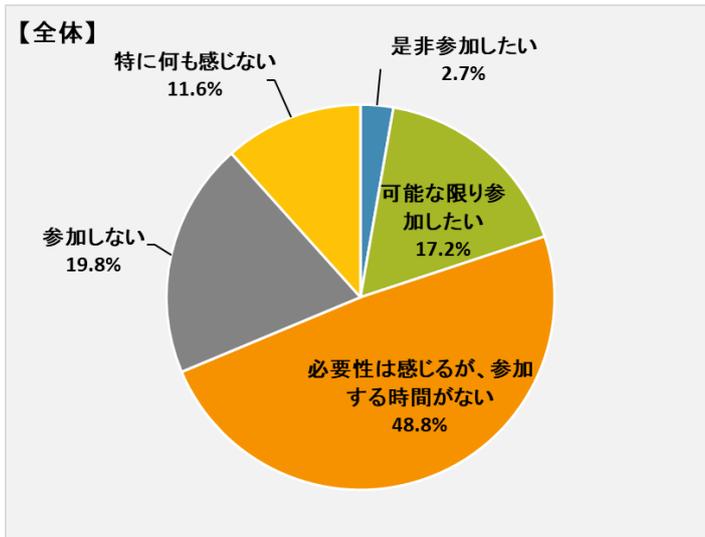
さんさんバスを利用すると答えた249人のうち、ほぼ毎日利用する人は約1.6%、週に数日程度の人約9.6%、月に数日程度の人約20.9%、年に数日程度の人約67.9%でした。

回答数 748

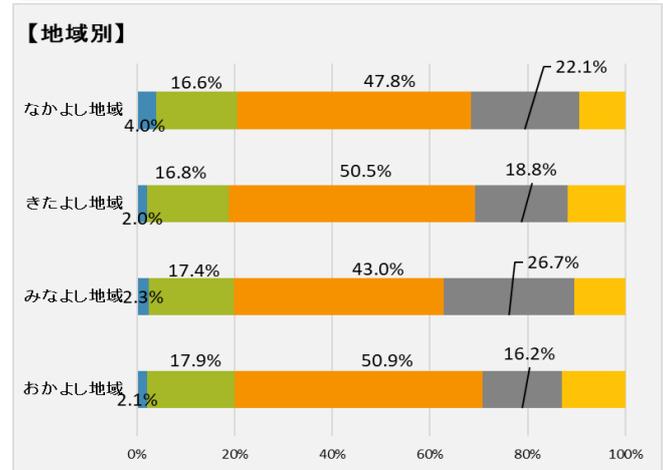
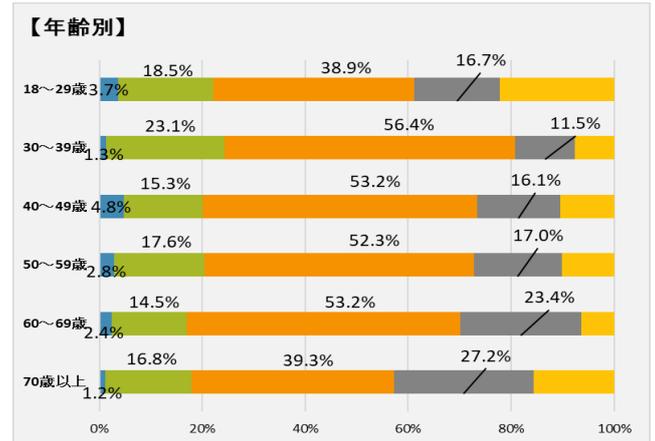


(3) 地域社会で支える子育て・介護の環境づくりの枠組みに参加することについて

回答数 734

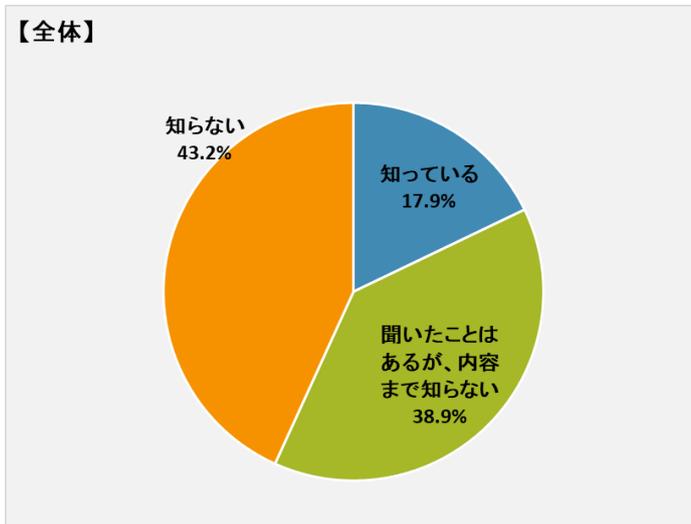


「是非参加したい」「可能な限り参加したい」と回答した人は約 20%でした。「必要性は感じるが参加する時間がない」と回答した人は全体の約半数という結果でした。

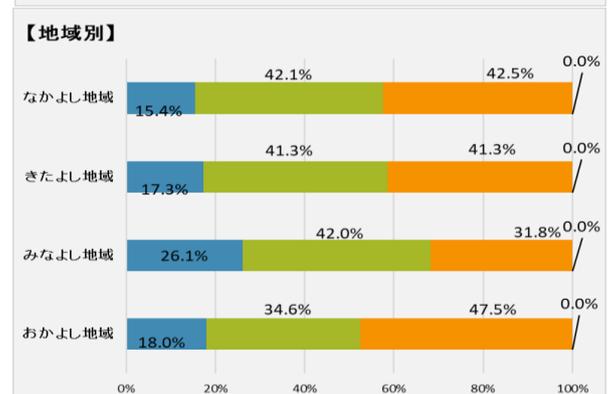
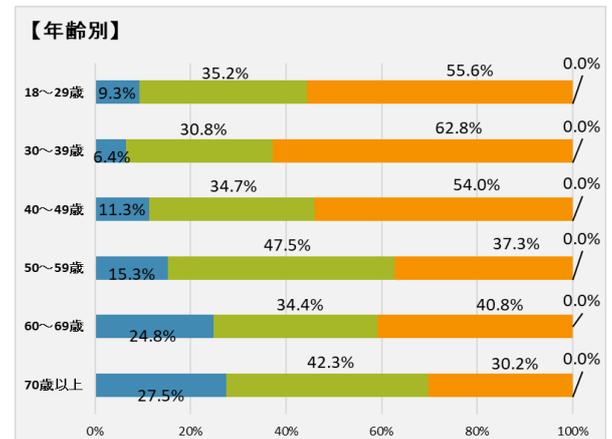


(4) 市民憲章について

回答数 745

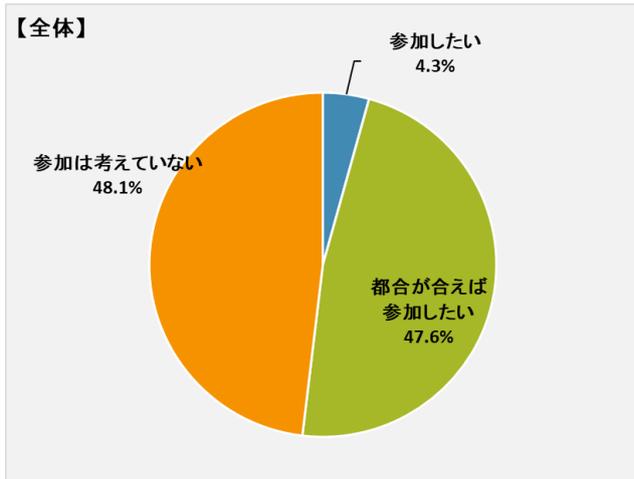


「みよし市民憲章」を聞いたことある(知っている、聞いたことがあるが内容までは知らない)人は約 57%でした。

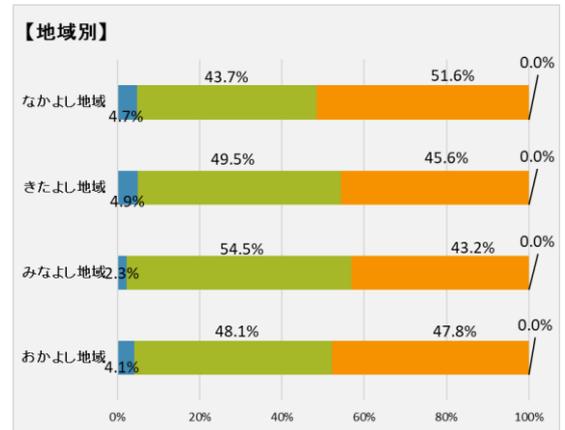
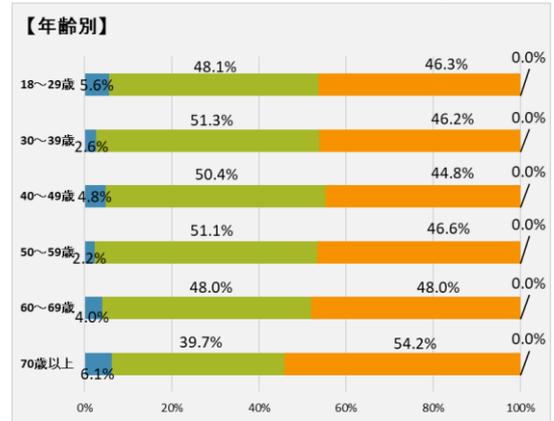


(5) 市民参加型 SDGs イベントの参加について

回答数 744

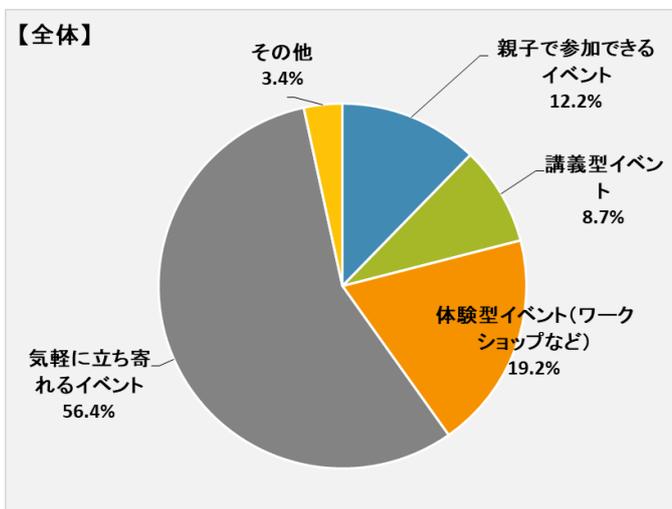


みよし市が今後開催する市民参加型 SDGs イベントに参加したいと回答した人は 4.3%、都合が合えば参加したいが 47.6%となっています。

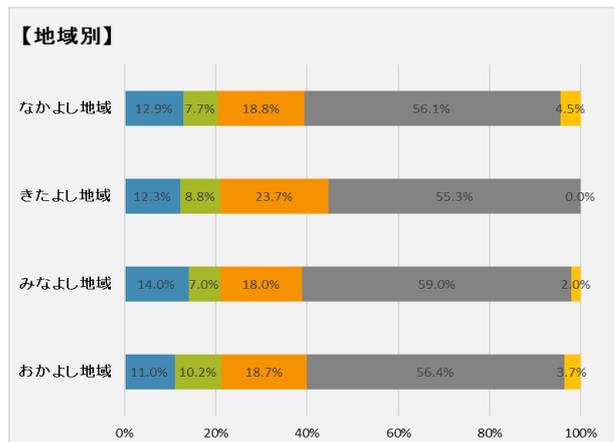
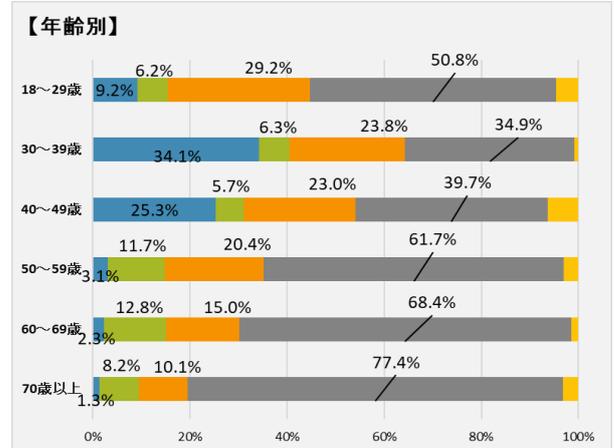


(6) 参加したいイベントについて(複数回答可)

回答数 858



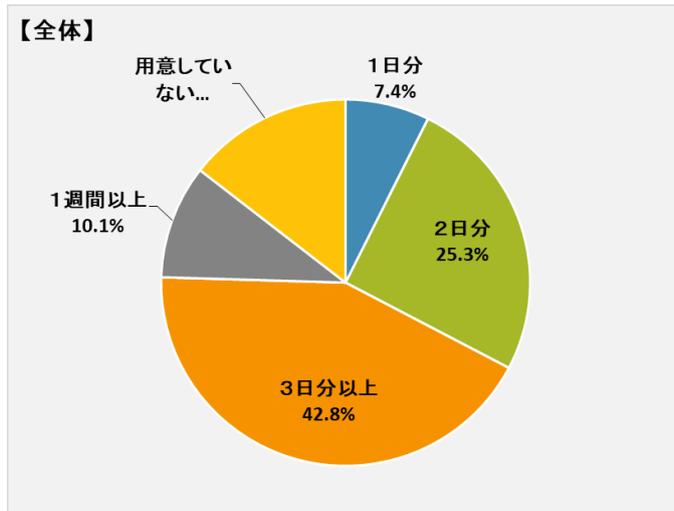
気軽に参加できるイベントが最も多く 56.4%、次いで体験型イベント 19.2%、親子で参加できるイベント 12.2%という結果となりました。



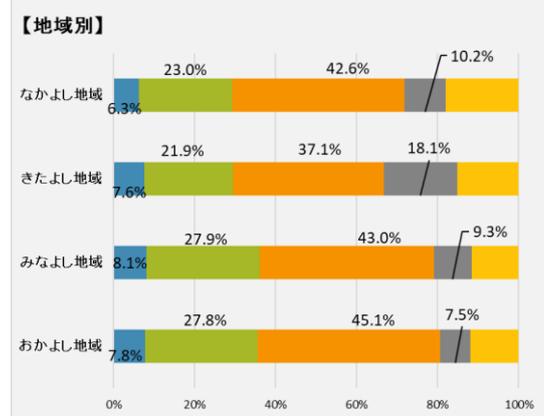
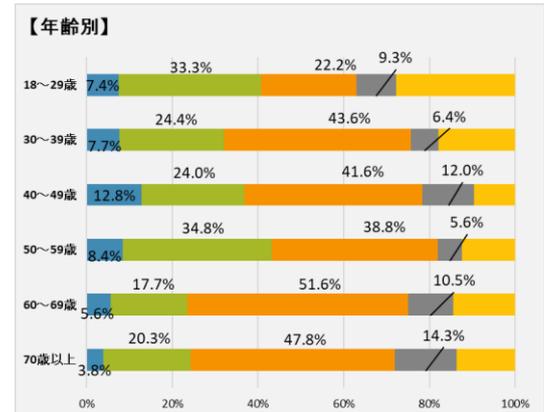
5 防災意識調査について

(1) 大規模地震の発生に備えた食糧や水の備蓄について

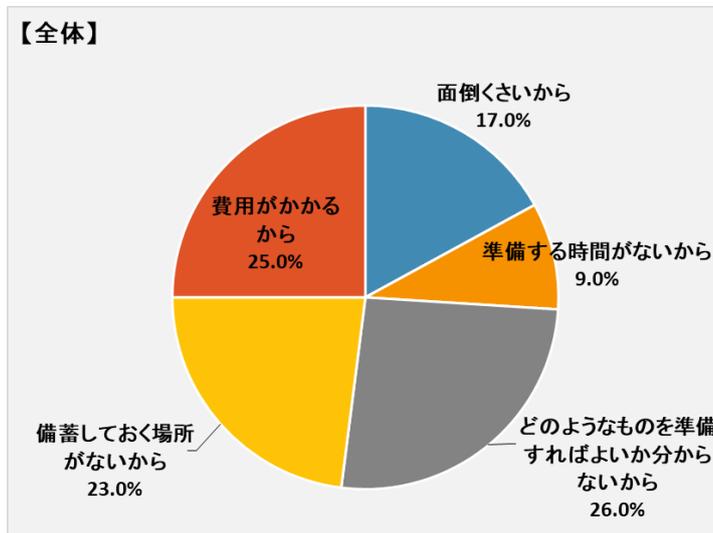
回答数 746



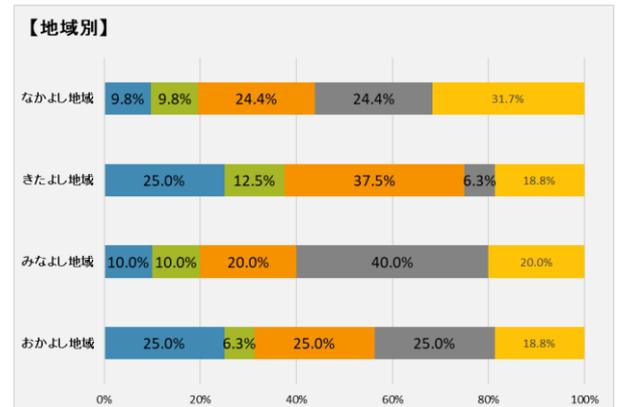
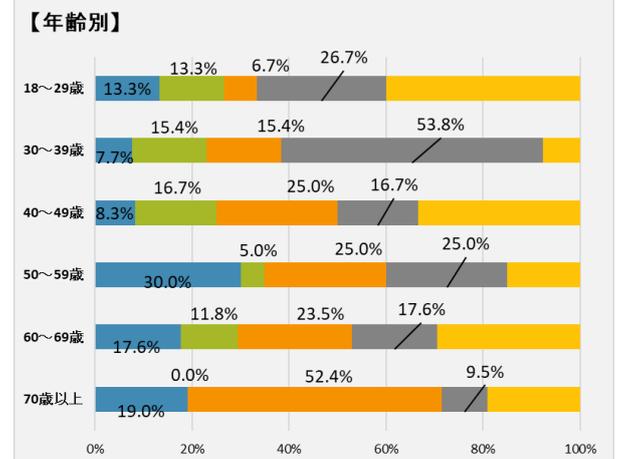
食糧や水の備蓄は3日分以上と答えた方が最も多く、約43%となっています。



(2) 用意していない理由は次のうちどれですか。(5(1)で用意していないと回答した方) 回答数 100

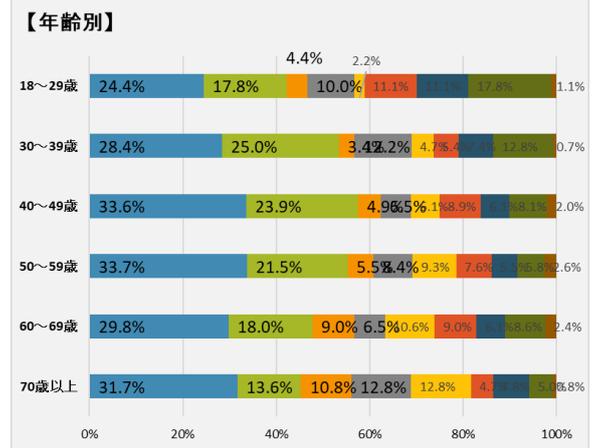
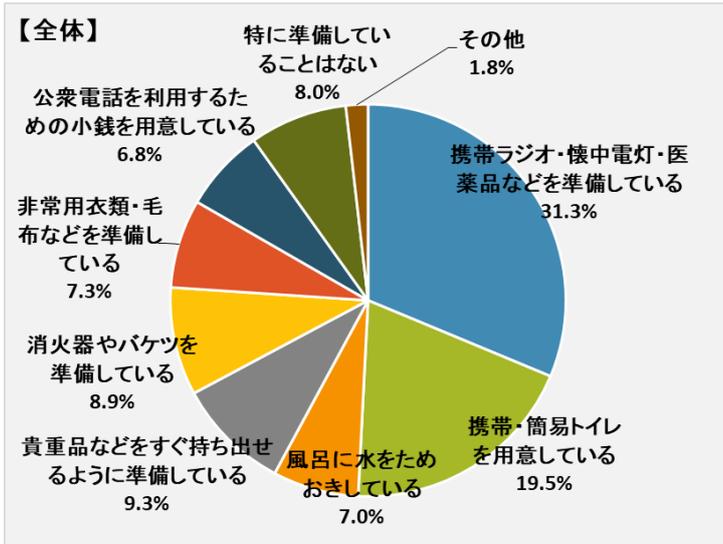


用意していない理由は、どのようなものを準備すればよいか分からない、費用がかかるといった理由が半数を占めています。

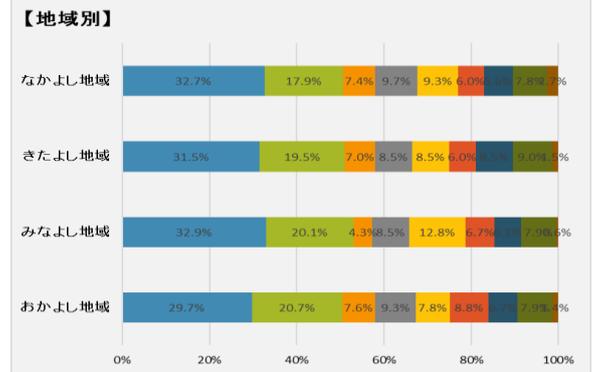


(3) 大規模地震の発生に備え日頃から準備しているものについて(食糧・水以外)

回答数 1,437 (複数回答可)

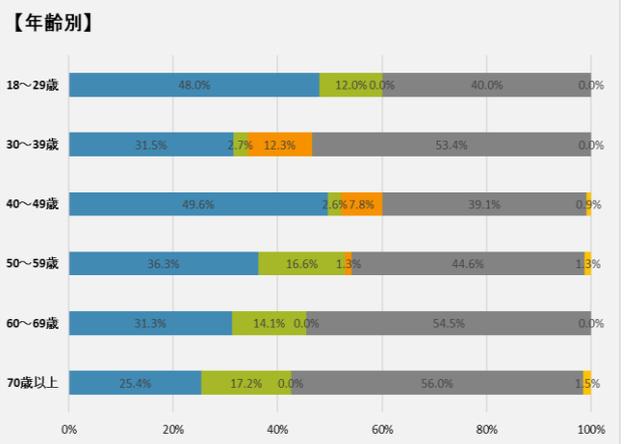
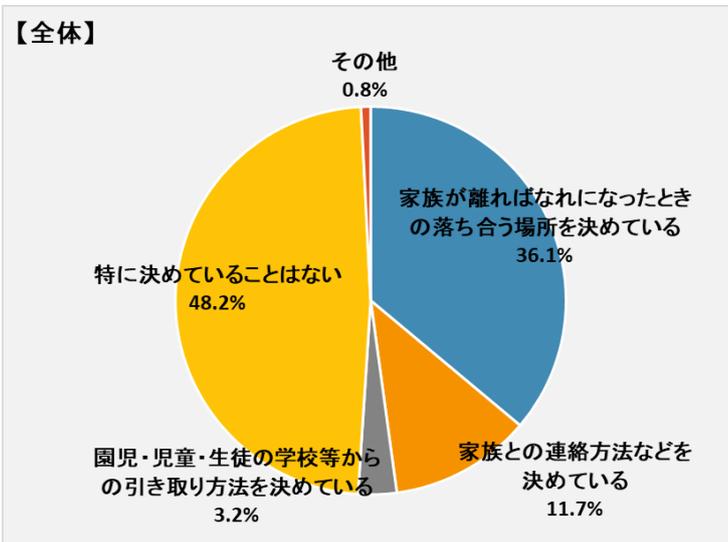


日ごろから準備しているものは、携帯ラジオ・懐中電灯・医薬品などが約 31%と最も多く、携帯・簡易トイレが約 19.5%となっています。



(4) 大規模災害の発生に備えて日頃から決めてしていることについて

回答数 631



日頃から決めてしていることは、家族が離ればなれになったときの落ち合う場所を決めているが約 36%となっています。

